

# 地域づくり活動の行動計画

## 鈴鹿中央総合病院

2024年度  
地域緩和ケア連携調整員研修 ベーシックコース

### 【チームメンバー】

参加施設・所属	氏名(職種)
地域連携室	小林 宣子(看護師長)
外来	宮崎 嘉英(看護主任)
患者支援センター	村上 佳奈(社会福祉士)
患者支援センター	中西 瑞季(社会福祉士)
患者支援センター	中島 理沙(社会福祉士)

## ① 選定した地域の課題

- ・ 院内で医師やMSWや看護師が収集した情報が共有できるツールがなく、後方連携できていない。

## ② どんな地域を目指すのか

- ・ 病院と在宅や施設がともに連携が継続できる地域  
つながりが見える地域
- ・ 病院、在宅、施設全体で患者を支えられる地域

### ③ 目指す地域を実現するために取り組むべきこと

- 顔が見え、互いの考えを共有できる関係性作り  
→退院前のカンファレンスの継続
- 症例検討カンファレンスの実施
- ツールを作成して、ツールについて院内外に向けて発信できるよう勉強会を開催する

## ④ 具体的な行動計画

- 既存の院内のがん多職種カンファレンスに、訪問診療医に参加してもらい、在宅に帰った患者の在宅での様子を情報共有してもらおう。院外スタッフからの連携についての意見も聞いて、取り組み検討する。
- ツール作成のために、研修に参加したメンバーで意見をまとめて上司に提案する。その後院内→院外に発信していく。

## ⑤ 目標達成時期

- 達成時期：来年度中